

花まるたより

2026
107,08

Hanamaru
Monthly
Newsletter

高濱 コラム

花まる学習会
高濱 正伸



2026年
7,8月

小さな信頼の
積み重ね

現在販売中の『AERA with Kids 2026 夏号』（朝日新聞出版）で、建築家の佐野文彦さんにインタビューしました。彼が設計した、木を大切にした独特の空間である神楽坂の眼鏡屋さんがインタビューの場であるということで、飯田橋駅から坂を上りながら気づきました。撮影用の衣装が無いことに。記憶をたどると、朝、東京駅から御茶ノ水駅へ向かったときに電車の網棚の上に置いたこと、それをすっかり忘れて数時間過ごしていたことがわかりました。

打つ手はあるかもしれないが、収録時刻までには間に合わないことは自明。社員に鉄道会社に問い合わせてもらいながら、私は通勤服のままインタビューに臨みました。佐野さんの「普通という常識」から抜け出た自由で独特の人生を聞いて

いるのは楽しかったし、学びも多かったし、記事としては良いものになっただろうと思いつつ、買ったばかりの衣装を回収しなければという思いが頭の片隅を占拠していました。

2時間のインタビューを終えて社員から来ていた連絡を確認すると、「鉄道会社に問い合わせはしたけれど、どこかに届けられるまでは探しようがない」という主旨の答えでした。そこで私は、朝の細かいスケジュールや降車した場所を思い出し、電車が青梅行きだったことや、衣装を置き忘れた車両と網棚の位置をほぼ特定しました。それで、かなりの時間が経っていたのですが、毎回青梅行きとは限らないけれど東京駅と多摩方面の駅を往復した回数を仮で計算してみても、操車場などに行ってしまうていなければ、だいたい19時頃に御茶ノ水駅に到着するなとわかりました。そこで誤差範囲なども想定して18時30分くらいからホームで待つては、到着する電車の網棚をのぞくことを始めてみたら、7本目くらいの車両でめでたく発見しました。ちよつとした探偵気分というのか当たりの喜びというのか、そこはかない充実感を覚えました。そしてそこで思ったのは「これが日本だよな」ということです。モラルの国。経済的豊かさも背景にあるとはいえず、

文化として電車の網棚にある物を盗っていく人がほとんどいない、ということですね。「落とした財布すら返ってくる国」なのです。そして世界各地をまわれば、それが稀有な事態であることも、よく語られることです。

また、こういうこともありました。結婚30周年ということで、5月に夫婦でフランス旅行に行ったのですが、そのときのエピソードです。ニースのマティス美術館へ行き、大好きなマティスの作品群を堪能したあと、お土産売り場で美術書や文房具、マグネットなど品数多く購入しました。そしてNetfixで昨年若者の間でブームになった恋愛リアリティショー「オフラインラブ」で観た美しい海岸やおしゃれなカフェなどのある素敵な街並みを味わいながら散歩して、ホテルに戻って食事をしたあと、購入品をベッドの上に広げてみたときに気づきました。

「あれ？ 後期の作品の切り絵が描かれた水筒がない」

全体としての領収書はもらったけれども明細はもらわなかったもので、そもそも本当に購入したかどうか不明になりました。「買ったけれど店員さんが袋に入れた」のか「買ったけれど私がどこかで落とした」のか「そもそも横に置いた

『不登校だから、輝ける！』 花まるエレメンタリースクールの挑戦

新刊情報

林 隼人 著
樫戸 ひかる 構成
(小学館)



不登校の子どもたちが、仲間や大人たちとのかかわりのなかで、自信や主体性を取り戻していく——。花まるエレメンタリースクール校長・林隼人が、スタッフや子どもたちと積み重ねてきた日々を語ります。子どもが切確琢磨し、飛躍的に成長していく姿と、「花まる」実践のエッセンスに出会える一冊。

自由研究コンクール 今年度も開催！

応募締切
10/31(土) 19:00



詳細・提出は
こちら！



タカコタカコ 尾瀬戸ギャラクシー涼

ディズニーランドのある浦安市育ち。大学生になったら「近いのだから応募しなよ。もったいないよ」と母に言われ、キャストとして4年間アルバイトをしました。主に「スプラッシュ・マウンテン」で髭のある英語挨拶をするキャストの一人でした。「ジャンボリミッキー！ レッツ・ダンス！」が始まったときに突然大きな手袋を持たされて、一緒に踊るスタッフとして駆り出され、自分のファンになっていた年パスの常連の子に笑われました。

りして、レジ打ちもされていなかったのか」……。誰のミスともわからぬまま、翌日。私たちはシャガール美術館へ向かい、地元在住のコーディネーターの男性にお願いして、マティス美術館に行ってもらいました。すると小一時間して合流した彼の手には、新品の水筒がありました。聞くと、最初は「なに言いがかりをつけているんだ」くらいの対応だったそうなのですが、すべての購入品をベッドの上に並べた写真や領収書を見せて交渉したら、まず明細がわかり、確かに購入していることが判明。それでも「もらっていない」と主張して追加で商品をいただいでしまおうという不心得者だっているし、ということで交渉は長引いたらしいのですが、最後は新品の水筒を渡してくれた。そのときのスタッフの上司の言葉が、「まあ、日本人は正直だからな」というものだったそうです。

なんでもないようですが、重い言葉だなと感じました。長年の先輩たちの、無数の場面での無数の善行や正直な行為の積み重ねがあって、いま、民族として信頼されることになっているのです。実に誇らしいことであるし、大切なこと。前述の電車のエピソードとも通じますよね。

ちょうど帰国した日につけたテレビ

で、モンゴルから来た留学生が留学先を日本に決めた理由を話していました。彼は「他人に迷惑をかけない素晴らしい文化に憧れて来た」と言いました。

世界は混乱しています。あまりに巨大で世界中を巻き込む悲劇だった第二次世界大戦を経験して、70年強は「もう二度と戦争だけはいやだ」という気持ちが多くなの人に共有されていたからでしょう、いろいろありつつも平和を希求する方向に国連を中心として動いていましたし、少なくとも日本は平和でいられた。しかしこの数年、帝国主義や植民地の時代に戻ったかのように大国が力と力の対決・収奪・侵略などを平然とやりはじめています。日本だけが無事である保証はまったくありません。

どう生きるべきか。特に個人として。

いざというときに備えて準備をしておくことなど、多様な視点がありますが、私は一番大事でスシンと効くのは、市民レベルの交流として信頼を積み重ねることだろうと考えます。「日本人は正直だからな」を世界中の人たちに言ってもらえるように日々行動することです。サッカーのゲーム終了後にゴミを集める日本のファン集団のおこないなどが典型です

が、地味だけれど信頼の貯金がたまる行動を重ねること。いざというときが来そうになっても、この信頼のパワーが助けになると思うのです。

ちょうど家族で旅行したりすることも多い季節です。駅やレストラン、ホテル等々、さまざまな場面でいろいろな国の多様な人々と触れあう機会も多いでしょう。そういうなかで日本人として相変わらず真面目で正直で他人のことを思いやる行動をとりたいですね。

みなで一步一步。横で見上げている子どもたちの時代が少しでも平和で良いものになるように。

さて、夏休み。体験こそが子どもの頭と心を育てます。帰省・海水浴・旅行・科学館・ボランティアなど、さまざまな体験に満ち満ちた夏でありますように。

夏フェス 出演決定!

実は私のバンドKARINBAが、初めて夏フェスに出演することになりました。茨城県のひたちなか海浜公園で開催される10万人規模の**Lucky Fes**です。シャイニングハーツパーティや卒業式で歌った歌を歌います。ほかの出演者もすごいので都合のよろしい方はぜひ観に来て応援してください!

詳細はこちら! **Lucky Fes** 公式サイト

KARINBAの出演は
8月11日(火)10:20~10:50頃



お手続き期限・授業料等振替日の変更にに関するお知らせ

いつも花まる学習会にお通いいただき、誠にありがとうございます。

このたび、花まる学習会では基幹システム変更に伴い、**2026年8月1日(土)**より各種お手続きの申請期限および授業料等の振替日を一部変更させていただくこととなりました。何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

お手続きの申請期限は、退会が前月末まで、休会・コース変更が前々月末までと、これまでより少し早まります。

また、**授業料等の費用は、前月27日に翌月分を口座振替にてお支払いいただくようになります。**

そのため、**2026年9月は、9月14日(月)(9月分の授業料) および9月28日(月)(10月分の授業料)の2回のお支払いが発生いたしますので、ご確認くださいませと幸いです。**

なお、詳細につきましては改定後の会員規約をご確認ください。

花まるだより 2026年7,8月号 (令和8年7月5日発行)

編集・発行	株式会社こうゆう
	花まる学習会
発行人	高濱 正伸
企画・編集	久慈 菜津紀
編集	金井 彩・清田 奈南
	坂田 翔・高橋 奈穂
デザイン	春日 梨沙・西野 奈布子
印刷	アークランド株式会社



全国の花まる教室長、約150人をまるっと一年かけて高濱が直接インタビュー! 高濱による他己紹介「タカタコ」で、みなさんの教室長を紹介します。今年は「私のふるさと」をテーマに、教室長一人ひとりを深掘りしちゃいます。サマースクールや雪国スクールで会ったリーダーたちも探してみてくださいね!



花まる野外体験

ニュース



カトパン

加藤 崇彰

秋もイベントが白押し！

今回は野外体験部のドラゴンとカトパンが

2026年春に開催したイベントをレポートします。

無人島体験に密着！

「ないからこそ、見えてくるもの」 加藤 崇彰



この春の「親子で無人島野外体験」では、40センチ近いクロダイが釣れました。その魚を捌くことになったAさんの将来の夢は、すし職人。魚を前にした彼がふと、「こんなに大きかったら魚拓をとりた いね」とつぶやきました。

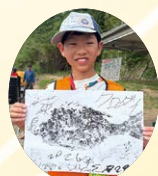
その一言を聞いて、「それはおもしろい！」と挑戦することに。炭を細かく砕いて墨をつくり、魚に塗って画用紙をべたり。こうして世界にひとつだけの魚拓が完成しました。

無人島には、普段当たり前にあるものがありません。だからこそ、そこに「ある」ものがくっきりと見えてきます。

私が無人島で最も際立って見えてくると感じるのは、一人ひとりが持つ個性です。今回の魚拓も、Aさんの「やってみたい！」から生まれました。

無人島で子どもたちを見ていると、もともとその子のなかにあったものが、自然のなかで、仲間のなかで、少しずつ顔を出してきます。

私は、そんな子どもたちが自分らしさを発揮しながら、夢中になっている姿を見るのがたまらなく好きです。



参加者にインタビュー！



2年生Sさんのお父さま

焼いた貝を開く工程で、子どものことを忘れて夢中になってしまいました。わが子は、火おこしでマッチをつけるのがなかなかうまくいかず、何度も何度も失敗して、煙も目に沁みて。でも最後には火をつけることができました。振り返ってみると、日常生活では何度も失敗して乗り越えるという経験を、あまりやらせてあげられていなかったな、途中で親がやってしまうことも多いなと、少し反省しました。泊まりに来るのが初めてで友達ができるか心配していましたが、楽しそうな姿をたくさん見られたので、すごく良かったです。



3年生はるやさんのお父さま

テントで寝たり、キャンプのような経験をしたいなとは思っていたんです。でも、旅行の企画を立てると、ホテルに泊まったり観光地へ行ったりと、結局普通の旅行になってしまうことばかりで。

大人のほうが「これ大丈夫かな」「汚れないかな」と考えちゃうんですけど、子どもたちはどんどん前に行くんですよ。魚を触ったり、海に入ったり、火おこしをしたり、子どもたちはすごく自然に馴染んでいて。それを見ているのもおもしろかったです。やっぱり、こういう普段できないことをやれるというのが、無人島の一番いいところだなと思いました。

秋の無人島もわくわくがいっぱい！



A (2泊3日)

9/20～22
(日) (祝・火)

しょうがく ねんせい いじょう
小学4年生以上

B (2泊3日)

10/10～12
(土) (祝・月)

しょうがく ねんせい いじょう
小学4年生以上

C (1泊2日)

10/31～11/1
(土) (日)

かいいんおやこ
会員親子
おとな めいこ
(大人1名・子1名)

D (1泊2日)

11/7～8
(土) (日)

かいいんおやこ
会員親子
おとな めいこ
(大人1名・子1名)

E (2泊3日)

11/21～23
(土) (祝・月)

かいいんおやこ
会員親子
おとな めいこ
(大人1名・子1名)

申込締切
7/30 (木)
19:00



無人島・花まる子ども冒険島HP

井上ジャグリン涼太

神奈川県平塚市育ち。平塚という湘南の海のイメージかもしれませんが、私の家は秦野市寄りの山側で、大自然に囲まれて育ちました。母校の小学校は縦割りの班を大事にする教育で、1年間、1～6年生がチームで過ごします。体育館でのゲーム合戦、森遊び、掃除など、縦社会で各々学びながら活動しました。それ以外に介護施設や公民館で地元の方々と温かい交流もするなど、非常に良い学校生活だったと思います。



はなまる親子サムライに密着!

本気だから楽しい!

大人も子どもも夢中になれる、花まる学習会オリジナルのスポーツ「サムライ合戦」。2026年春は約1,300人が、仲間とともに天下統一を目指しました。肩を並べて戦う父と子、母を守る1年生。相手軍の活躍も、笑顔で称え合う子どもたち——。戦いのなかで生まれる葛藤や絆、挑戦そして成長。今回も数々のドラマが生まれました!



ドラゴン

清岡 悠河

大將たちの思い

本気の挑戦から、人は変わる。悔しさを越えた先に、本当の強さがある。

サムライ合戦は、勝ち負けだけの戦いではありません。逃げたい気持ち、負けた悔しさ、仲間との衝突——その全部に向きあいながら前に進む体験です。本気で挑み切った子どもたちの表情は、本当にカッコいいです。



伝説のサムライ
ファイヤー
箕浦 健治

あきらめないこと。家族と仲間と自分を信じること。サムライには心の成長が詰まっています。

時には厳しい状況に追込まれることもあります。思い通りにいかないこともあります。それでも、決して誰かのせいにすることなく、最後まで戦い抜く。協力しあう。信じあう。自分の心が成長していく時間です。



スティック
小林 駿平

全力で戦い、勇気ある挑戦が仲間の力に!

全員で前向きに挑む。うまくいかないときも励ましあいながら、悔しい気持ちとも向きあい、最後まで諦めずに仲間と進んでいく。そして最後には、みんなで「やり切った!」と思える最高の時間にしてほしいです。



なでしこ
伊井 祥花

どんな姿でありたいか! 全力全開で戦いつづける!

負けたときやうまくいかなかったときは、「あのときこうだったら」ではなく「次はこうしよう!」とポジティブに! 最初から最後まで全力で戦いつづけて、「楽しかった」で終わるように悔いなく戦ってほしいです!



ギャラクシー
尾瀬戸 涼

ピンチはチャンス! 「自分にもできるんだ!」という自信を信念に!

一人ではうまくいかないような困難も、仲間がいれば乗り越えられるはず。やがて自信や勇気を身につけられると信じています。そのきっかけをつくれるよう、大將として想いを伝えています。



タイガー
山口 大河

「楽しさ」「困難」「喜び」難しいことはみんなで分けあい、嬉しいことはみんなで増やそう!

今日のメンバーは縁あって同じ軍になった仲間。一人よりも二人、二人よりも三人のほうが乗り越えられるものは増えるはず! 仲間と一緒に一歩前へ踏み出しましょう!



さいさい
齋川 智未

参加者の声

こうたろうさん (4年生)



4回目の親子サムライ合戦で、はじめて大將を討ち取りました。自分が大將を倒したことがアナウンスされて、改めて「やったんだ!」と思った次の瞬間、大人・子ども関係なく同じ軍の仲間たちがかけよってきて最高の笑顔でハイタッチ。本当に嬉しくて、「次もやってやるぞ!」という気持ちになった。自分のために、みんなのために、サムライはやっぱり最高です!

Yさん (6年生)



はじめての参加でしたが、知らない人とも仲良くなれて楽しかった! 同じ軍の人と一緒に作戦を考えたり、ピンチのときも「頑張ろう!」と励ましあったり。大人と戦うのが最初は緊張したけれど、手加減なしで本気で戦えるのがおもしろかったです。刺激的で、日常ではできない体験でした。サムライに参加してから、学校でくだらないと思うことも本気で頑張れるようになりました。

ドラゴンも大將や実況で参加するよ!

秋も家族でサムライ合戦! 熱中し、挑戦し、「楽しかったね」と笑いあえる特別な一日に。今年の秋を彩る思い出を、合戦場で一緒に作りましょう!

家族で遊びつくそう!

花まる野外体験▼

花まる親子サムライ
~秋の陣~



※ 開催日程・会場などの詳細は野外体験サイトで9月上旬に公開します。

須永サンド修平

群馬県桐生市で山と川に囲まれて育ちました。毎日が花まるのサマースクール状態でした。実際、昨年までサマースクールの「火おこしの国」を開催していた「小平の里」の川でもよく遊んでいました。ちょっと足を延ばせばメダカのいる小川もありました。まさに山紫水明。母校・桐生高校の校歌は「ヤマムラサキに♪」と始まり美しいなといつも感じていたのですが、女子高と合併して誇るべき歌詞が歌われなくなったのは、大変残念です。



こん げ っ

今月のレインボータイム

【引き算パズル】

どの列もたて、よこに同じ数字は入りません。

○で囲まれた数字は枠のなかの数の差です。

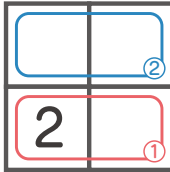
() のなかの数字を使って、あいているマスに入る数字を考えよう。



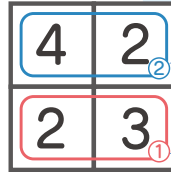
しゅつだい みずぐち わい
出題：水口 しえふ 玲
(花まる AIS)

例

(2~4)



(2~4)



$$4 - 2 = 2$$

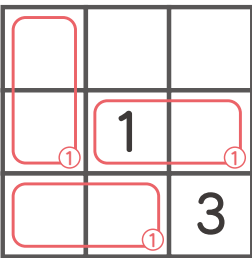
4 と 2 の差は 2 だよ

2 と 3 の差は 1 だね

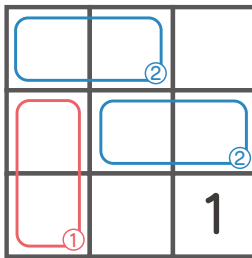


解答は
こちら

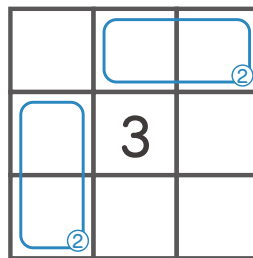
レベル1 (1~3)



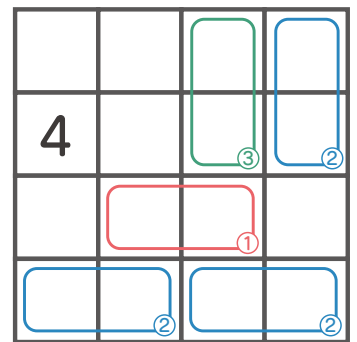
レベル5 (1~3)



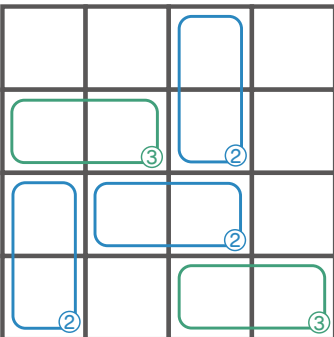
レベル10 (1~3)



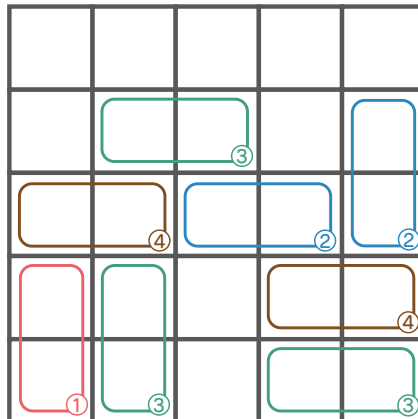
レベル30 (1~4)



レベル70 (1~4)

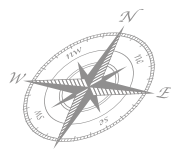


レベル99 (1~5)



今どうしてる？

卒業生物語



花まる学習会・スクールFC卒業生のその後に迫ります。
第40弾は、論理的思考力に磨きをかけた、
伝説の卒業生にインタビュー！

ようこそ先輩!!



須田 涼太郎さん

【花まる学習会アルゴクラブ】小2～小3
【スクールFC・スーパー算数】小4～小6
*担当教室長：高濱正伸、中山翔太、仁木耕平、川島慶 ほか
【進路】筑波大学附属駒場中・高等学校→東京大学
【現在】東京大学大学院理学系研究科 物理学専攻 博士課程

高濱 涼太郎はいま、どんな研究をしているの？

須田 日本学術振興会の特別研究員として、物性実験の分野で、物質の性質を量子力学の法則に基づいて説明しています。現在は、極低温で電気抵抗がゼロになる「超伝導」を、より高い温度で実現できないかという研究の一端を担っています。高温でも実現するような超伝導体にどんな性質があるかを調べて理論に対してフィードバックしていく、地道な基礎研究過程の一つです。

高 かついいなあ。もともと天才的に数学が得意だったけれど、物理を選んだんだね。

須 数学は得意でしたが、興味の対象はもう少し広がったです。高校生のときに数学オリンピックで代表選考合宿まで進んだのですが、そのときに「自分のやりたいことは少し違うかもしれない」とも感じて。私が好きなのは数値を扱ったり理屈を突き詰めたりすることなので、社会的な相互作用のある世界にも惹かれました。ものごとの本質を追究した結果、たどり着いたのが物理の世界でした。

■アルゴ・FCでの思い出

高 アルゴで印象に残っていることはある？

須 理詰めにならなくていい、ナンバリングがとにかく楽しかったです。ナンバリングに限らず、どんな問題も直感ではなく理詰めで解いてきたので、その点は少し後悔もありますが……。いまでも感覚的な判断はあまり得意ではないですね。

高 思考力を鍛えるのに最高の教材だよ。涼太郎の場合は理詰めの方が極まりすぎていたんだな。野外体験は覚え

ている？

須 川に飛び込んだことが思い出深いです。

高 最高だよな。FCはどうだった？

須 仁木先生が叱ってくださったことが強く印象に残っています。子どもながらに、本気で私のことを案じてくださっているのを感じました。素因数分解対決で川島先生に挑もうとしたことも覚えています。

高 おお。スーパー算数での涼太郎の姿も印象的なんだよな。あの頃の涼太郎は、2番になったり解けない問題があったりすると悔しさが感情を爆発させて、本当に大変だったんだよ。

須 ご迷惑をおかけしました……！

高 でも、悔しがれる子ほど伸びるんだよ。大変でもかわいくて仕方なかったなあ。

須 アルゴやFCは、自分らしくいられる場所でした。否定せずに受け入れてくださったので、自分というものを確立できたと思います。小学校ではあまり良い経験ができなかったもので、とても大切な居場所でした。仲間たちや先生方に迷

惑をかけながらも、自分は何者なのかを考え、人とかかわり方を学んでいった、貴重な時間だったと思います。

高 あの少年がいまではちゃんと大人になって、自分の強みに自信をもって生きているのだから、本当に嬉しいよ。

■これからのこと

高 これからはどうしたいの？

須 まだはっきりとは決まっていますが、夢を語るとしたら、科学技術が展開した先にある、SFのような未来をみてみたいです。そのためには長い道のりがありますが、自分にできることを一つずつ具体化して進んでいきたいと思っています。

高 いいねえ。好きなことで輝く人生を送ってください。期待して応援しています！

須 ありがとうございます！

学生時代のことやご両親のことなど、
続きはこちら！



2023 佐藤ごじら暢昭

運河で有名な北海道は小樽の出身。天狗山という山が故郷の中心にあります。夏は祖父と登山、冬は家族でスキーと遊びつくしました。登山の思い出というと、ガン治療から退院したばかりの休んでいなければならない祖父に、「天狗山に連れて行って！」としつこくねだって連れて行ってもらったことでしょうか。スキーでは、スキー場の鬼コーチが親類にいて、急斜面で鍛えられたのも良い経験でした。

今回のテーマ 非認知能力



「少しでもわからないと、すぐに諦める」
「悔しいことがあると感情的になってしまう」
「失敗するのが怖くて、チャレンジしない」

親としてどうかかわったらいい？

かにい あやこ
蟹江 絢子

あじさいクリニック（児童精神科・精神科・心療内科）
院長。二児の母としての経験も活かし、日々の生活
や子育てに役立つ情報を発信中。著書
に『対話の科学 親子編 子どものこころを強く成長させる33のセオリー』
（こころのサイエンス文庫）など。
あじさいクリニック公式サイト▶



非認知能力は褒め方で高められます

人生をたくましく生きぬく力を育む褒め方

- 「生まれてきてくれてありがとう」▶▶ 自己肯定感
- 「やってみようとする気持ちがすごいね」▶▶ 失敗から学べる力
- 「冷静になろうとする姿が素敵だね」▶▶ 自制心
- 「一緒に頑張ってくれて嬉しいよ」▶▶ 協調性
- 「悔しかったね。でも立ち上がる力があるよ」▶▶ レジリエンス（立ち直る力）
- 「諦めないで続けている姿、かっこいいよ」▶▶ GRIT（やり抜く力）

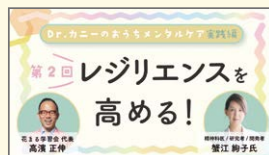
子どもの非認知能力は、日々の「褒め方」によっても高めることができます。非認知能力とは、自己肯定感、自制心、協調性、レジリエンス（立ち直る力）など、学力テストでは測れない“心の力”のことです。これらは将来の人間関係や仕事の土台になる重要な力です。大切なのは「結果」だけでなく「過程」を認めることです。テストで100点を取ったことよりも、「毎日コツコツ勉強していたね」とそこまでの努力を具体的に褒めることで、「やればできる」という自己効力感が育ちます。挑戦して失敗したときも、「ナイストライ」と行動そのものを評価することで、失敗を恐れず挑戦する姿勢が身につきます。

自制心については、「イライラしたけれど落ち着こうとしていたね」と感情を整えようとする努力を認めます。感情を否定せず、扱い方を学ぶ機会にすることがポイントです。また、レジリエンスを伸ばすには、「悔しかったね。でももう一度やろうとしたね」と立ち直ろうとする姿勢に光を当てます。困難を避けるのではなく、

乗り越える経験を支える声かけが重要です。

さらに、自己肯定感の土台となるのは存在承認です。「あなたがいてくれてうれしい」という無条件のメッセージは、子どもの安心感を強く支えます。

褒め方は親の価値観を伝える行為でもあります。どんな力を育てたいのかを意識し、見つけた行動を具体的に言葉にして伝えること。その積み重ねが、子どもの未来を支える確かな力となります。



※本記事は、YouTubeで配信中の「Dr. カニーのおうちメンタルケア実践編 第2回 レジリエンスを高める！」から内容をまとめたものです。もっと知りたい方はYouTube動画をご視聴ください。

📖 柴はなび健太

大田区の大岡山で育ちました。駅ビルの上に東急病院があるとか、理系国立大学の雄である東京科学大学（旧東京工業大学）がある、ということが有名かもしれません。良いところというと、穏やかで品の良い住宅街だということと、各地へのアクセスの良いところくらいでしょうか。日蓮聖人が足を洗ったとされる洗足池が近くにあり、幼い頃は祖父にねだってスワンボートに乗るのが楽しみでしたが、いまは娘を連れて乗りに行っています。



井岡 由実 (Rin)

Rinコラム

それは「ダメ」と決めつけない

「え、それはいいの？ ちよつと待って。あ、ダメ」
親子での創作ワークショップで、お母さんの口から思わずこぼれた一言でした。

こうでなくては、という見方をもちやすい大人に対して、子どもたちは「ああでもあるし、こうでもある」という複数の可能性を自然にもっています。答えは一つではない、という前提に立っているかどうかは、子どものそばにいる大人にとって、とても大切な視点です。

私が子どもたちにかけているのは、「そうだね、それもいいアイデアだね」「いいね、やってみて」という言葉です。同じ空間でそれを聞いていた保護者の方から、こんな声をいただきました。

「子どもが自由につくっているのを見て、『あ』とか『え』と言いつづけるのには、その前に先生がいいねと受け止めてくれる。子どもたちが前向きになる理由がよくわかりました」

子どもたちの声も印象的です。
「失敗してもいい作品ができるって言うてくれたから、学校より楽しい。毎日つくりたい」
「やってみると、何ができるかわからない。こっ

じやなきゃいけないっていうのがない」
大人は経験があるぶん、「ここでやめたほうがきれいに仕上がる」と未来を予測します。しかし、その「きれいな」は本当に子どものものなのでしょうか。知らず知らずのうちに、大人の価値観を押し付けているに過ぎないこともあります。

子どもにとっては、すべてが未知の世界です。「こつしたらどうなるのだろう」と手を動かし、思考をめぐらせる時間。その結果、作品はぐちゃ

ぐちゃに見えるかもしれませんが。けれども、よく見てみると、子どもたちの表情はすっきりしています。

ある子はそれを「深みがある色だねえ」と形容しました。「うつくしいね」ほかの子も同調します。そうなのです。何を美しいと思うのか、外の価値観ではなく、自分の心に聞くことができる、対象を本当の意味で観察し、自分の言葉で表現しようとする心が生まれます。それが鑑賞です。

「それはダメ」「そこまでにしなさい」と止められる経験が積み重なると、子どもたちの目の光は少しずつ失われていきます。逆に、自分の意思で心と頭を動かし、思考のなかに没頭できる時間は、主体性という学びの土台を育てていきます。

大切なのは、大人が一度自分の価値観を脇に置き、その子の表情をよく見ることです。何をしようとしているのか、その心の動きを受け止めること。

心のままに手を動かし、その瞬間の感情を表現する過程が守られていること。それこそが、本来大切にされるべき体験です。

他人ではなく、自分の意思で自分の心を満たす。その経験は、大人になったときの生き方や哲学に、確かに影響していくはずなのです。

関連コンテンツ



『こころと頭を同時に伸ばす AI時代の子育て』
(実務教育出版)



アトリエラジオ #236
「それはダメと決めつけない」

親子参加 OK!



8/16日 ①10:30~12:00 ②14:30~16:00
@お茶の水花まるラウンジ

対象 年中~中学生とその保護者
定員 各回 25名(予定)
参加費 1名 4,400円(税込)
申込締切 7/29(水) 19:00



9/13日 10:30~12:00
@お茶の水花まるラウンジ

対象 年長~中学生
定員 各回 25名(予定)
参加費 1名 4,400円(税込)
申込締切 8/26(水) 19:00

詳細・お申し込みはこちら!



島本アクセル夏凍

横浜市磯子区育ち。都内通勤者が多く住むただの住宅街ですが、子どもは遊びを生み出します。小学生時代は、当時流行っていた“逃走中ごっこ”を、住宅街のなかで範囲を決め夢中でやっていました。中高生になると行動範囲が広がり、友人と自転車のみなどみらいへ出かけておしゃべりや食事をしていました。初詣に歩いて鎌倉に行ったり、自転車で初日の出を見に海岸まで行ったのも良い思い出です。

花まるリビング

vol.59

たこマン、発想力



Satomi
勝谷 里美
Katsuya

低学年コースの授業で扱っている発想力を鍛える教材「たこマン」は、子どもたちに大人気です。1コマ目の絵を見て、次の展開（オチ）を考えて発表する。とてもシンプルな教材ですが、発想力はもちろん、ユーモアセンス、要約力、コミュニケーション能力など、遊びのなかで子どもたちのさまざまな力を伸ばすことができます。

人前で発表することに抵抗がある子は、まずは講師にこっそり伝えたり、紙に書いたり。次はチームのみんなに発表。慣れたきたら、クラス全員の前で発表。など、その子なりのスモールステップを踏める設計になっています。だからこそ、成功体験も積みやすいのでしょうか。

ただ、子どもたちにとっては、あまり難しい解釈は必要なく……本来、子どもは「楽しいことが大好き！」で「思いっぴちやっった！」をなにかしら表現したい生き物なので、一人ひとりが自分なりに「たこマン」の時間を楽しめていたらよいなあ、と思っています。

「発想力を鍛える」と冒頭に書きましたが、親としては「子どもが本来持つ発想力を、いかにつぶさないか」のほうが大事かもしれない、と思った出来事がありました。

年中の次女が、寝る時間のこと。「おもちゃを片付けてから寝るよ！」と声をかけたら、「R（自分の名前）、お片付け、きらいー！」と返事が（よくある光景ですよ……）。

それに対して私は、「そっかあ。ママはお片付け、好きだよ。すっきりして気持ちいいし、一緒にやろうよ！」

とその場で声をかけたのですが、なかなか動かない次女。

そのとき、自分の言動に引っかかりを感じました。ちょうど、社内での「対話の落とし穴」という研修を実施したのですが、そのなかで「対話では相手から自然と言葉が出るのを待つのが大事」という項目があったのを思い出したのです。

そうだった、そうだった！ わたし、落とし穴にはまっている。「ママはお片

付け好きだよ」という返しは、一方的な叱り（もう、早く片付けなさい！）「ちゃんとしまつて！」ではないので一見よさそうなのですが、よく考えたら、自分のことを話しすぎている。もっと相手の言葉を待ったり、聞いたりしたほうがいいのでは？ と思い直しました。

そこで、「どうして、お片付けきらいなんだろうねえ」と、言葉かけを変えてみました。すると、「んー、えー」と考え込んだあとに、最終的に出てきたのは、「時間がかかるから」という一言。さらに、もうちょっと待ってみると、「わかった！ ママが絵本、Rがぬいぐるみとわけよう！」という提案が来ました。ちゃっかりした末っ子らしい提案ですが、私もそれならOK！ と、片付け問題は解決した次第です。

改めて、自分が子どもをいかに誘導しようとしていたかに気づきました。「早く片付けてほしい」という思いが強くなるあまり、子どもの言葉を持たず、発想する余地まで奪ってしまっていたのかもしれない。

とはいえ、時間に追われる毎日のなかで「そんなに待ってられない！」というのが母の本音です。なにごと

塩梅のなかで、ゆとりがあるときは、「子どもの言葉等待つ」「子どもが本来持つ発想力を妨げない」という方針を、そつと心にとめておこうと思っています。



『なつみはなんにでもなれる』
ヨシタケ シンスケ 作・絵
(PHP 研究所)

タイトルだけを読んだときは、「未来へのメッセージ性の強い本？」と思ったのですが、いい意味で期待を裏切られます。そうそう、子どもってこうなんだよ〜！ と親側の共感ポイントが満載です。子どもにとっては楽しくて仕方がない本。そして親にとっては、読後、やっぱり子どもの無限大の可能性を感じられる一冊です。



『こねこをひろったけど
そだててみたら…』
新井 洋行 作
(BL 出版)

タイトルで「絶対におもしろい！」と確信しました。2コマで展開していく「たこマン」にも似た構成。発想力やユーモアセンスを感じながら、ぜひ親子で楽しんでください！

発想力



タカタコ 秦野ダンク達也

神奈川県藤沢市育ちです。何と言っても江ノ島が有名ですが、自身の思い出も、バスケットボール部の練習で海岸まで往復したとか、花火大会は楽しかったとか、海がいつもそこにあるからこそものばかりです。なかでも一番の思い出は、高校の文化祭が終わった夜。仲間たちみんなで海岸まで歩いて行って、浜辺に寝転んで「〇〇が良かったよなー」とずっと語り合ったことです。晴れた夜で流れ星がたくさん見えました。

わが家の自由研究

vol.26

スティックの自由研究②

頬に、チョコ


 Syunpei
小林 駿平
(スティック)
Kobayashi


気持ちよく家事を終え、颯爽と2階へ戻ろうとしたそのとき。階段を上る私の足音に反応したのでしょうか。2階から聞き慣れない音が響きます。

「バタバタ、ガラガラ——ドン！」

引き出しを開ける音。そして、何かを慌てて隠すような音。ただごとではないと、急いで階段を駆け上がると——。

そこには、平然を装い、ソファでテレビを見る娘の姿がありました。休日の私を見ているような、なんとも堂々とした態度です。……もしかして真似をしているのか。反省。しかも、よく見ると服はパジャマのまま。それだけで、私の心はイライラモードに突入します。

「A！ さっき約束したよね？ お父さんが1階に下りたら何するって——」

そこまで言いかけて、私は言葉を失いました。

娘の頬に、チョコ。べつとりと、ついています。

どうやら一人になった隙に、棚の引き出しからチョコレートを出し、食べていたようです。口のまわりは慌てて必死に拭いたのでしょう。床には茶色くなったティッシュが転がっていました。いかに、いかに。このままでは怒りが沸点に達してしまう。深呼吸をして、落ち着い

て声をかけます。

「A。おかし、食べた？」

「……食べてない」

「このティッシュはなに？ たくさん茶色いものがついているけど」

「わからない。ママのかなあ」

「ママの？ いつも一生懸命お掃除しているママが、こんなところにティッシュを落とすかな？」

「……」

目には、いまにもこぼれそうな涙。

「A、お父さんとAでいつも話している、いやだよね」って思うこと、三つやっ

たんだよ。わかる？」

「……」

涙が、すーっと一筋、二筋頬を伝います。

「二つ目は、うそをついたこと。二つ目は、約束をやぶったこと。三つ目は、誰かのせいにしようとしたこと。それが、お父さんは悲しいな」

わが家のルールは、ごはんをおいしくいただくために、おかしは父か母と相談してから食べることです。

「もう1回聞くな。おかし、食べた？」

「……うん。食べた」

「よし。正直に言えたね。大事なのは、繰り返さないこと。この話はこれで終わ

り！ またいつしよに公園でチョコでも食べるか！」

「うん！ いつ行く？ 今日？ 明日？」

さっきの涙はいったいどこへ。本当に反省しているのだろうか。想いは伝わっているのだろうか。不安はよぎりましたが、いったんこの場では封印し、気持ちを切り替えました。

「よし！ 着替えて、保育園に行くよ！ 顔は、そのままでもいいか！」

頬に残ったチョコの跡を消さずに保育園へ向かいました。

いつかまた、娘は勝手にお菓子を食べてしまいかもしれません。それは明日かもしれないし、一年後かもしれない。それでも、今日の嘘とその日の嘘はきつと、別のものです。何が正解かはわかりませんが、とりあえず私は「信じて、伝えて」を繰り返してみようかなと思っています。それは、花まるの現場でも大事にしていることです。信じてもらえる、心は上を向きます。上を向いた心は、自ら伸びようとします。子どもたちの成長はどんなときも「信じてもらえる」から始まるのです。

信じて、伝えて。その繰り返しを「成長の軌跡」と呼ぶのでしょうか。

川波ばんちょう 朋子

父の仕事の都合で1歳でアメリカへ行き、小学校入学と同時に香港へ。途中2度日本に戻ってきましたが、卒業式はまた香港でした。そのため故郷はと問われたら一番は香港です。特徴はその名の通り「香り」。スパイスや海や排気ガスなどの香りが混じり合っているのでしょうか、飛行機を降りたときにあの香りをかぐと「戻ってきた」と感じます。いろいろな点心がランダムに次々とテーブルを回ってくる飲茶が良い思い出です。



橋本 一馬
(職人)

アウト・ドア。それは、家の外ではなく、安泰の外。コンフォートゾーンの内で冒険が眠りつくとき、ドアは現れる。しかし、思い切ったドアの外に踏み出せば、そこにはきっと人生を変えてしまうような「何か」——「すてきなサムシング」が待っている。これは、職人がアウトドアで見つけたサムシングのレポートである。



サムシング⑥「琵琶 ロック・ユー」

「思いについて衝動が起きたらそれをやる」探検家、角幡唯介さんの言葉である。思いつきや衝動というものは、それまでの自分の生き方のすべてが表出したものだ。だから衝動は無視しないほうがいい。とても腑に落ちる言葉だ。

先日私に起きた衝動は、琵琶である。琵琶が聴きたい。何で？と思われるかもしれない。「理由なんてねえ。琵琶がオレを呼んでいるのさ」みたいなことを言ってみたい気持ちもある。しかし、この衝動の由来は番地がつけられるほどはつきりしていた。鴨長明である。いまでも言いつミニマリストの元祖である長明が、持ち物を限界までそぎ落としたあと、それでも手元に残した楽器が琵琶だった。鴨長明を愛する一ファンとして、当時の琵琶の音を一度は聴いてみたいと思うのは当然だろう。その欲求が衝動となって表れたのである。とはいっても、琵琶の演奏なんて一体どこで聞けるというのか。と思ったら意外とあった。

阿佐ヶ谷に「ヴィオロン」という喫茶店がある。夕方5時に閉まる。都営か。しかし、しばらくすると閉店後にもかかわらず、店のドアを開けて入っていく人たちがどこからともなく現れる。私もその一人となって扉を開

ける。するとなかには、この世のすべてのコーヒー豆が思い描く「昔ながらの喫茶店」をそのままかたちにしたような世界が広がっていた。これからここで、小さな演奏会が開かれるのだ。その夜のテーマはもちろん琵琶である。「最初に弾くのは『啄木』という曲です」と聞いて私は「ギャツ」と模図がずお顔になった。それが長明の命運を変えた曲だったからである。予約の際に「長明の琵琶に興味があります」と私が添えたのを主催者が酌んでくれたのだらう。ありがたい。

琵琶には三つの「秘曲」というものがある。平安時代に遣唐使が日本に持ち帰ったもので、みだりに人前で弾いてはならず、ごく一部の人間にしか伝承が許されていない。「啄木」はそのなかでも最秘曲とされた曲だ。その「啄木」を長明は許可なく人前で弾いてしまい、それが発覚して出家することになったと言われている。それほど曲が1000年後のいま、阿佐ヶ谷の喫茶店でコーヒーを飲みながら聴けるのだからすごい。いや、ひよっとしたら弦に手がかかった瞬間、そのドアから表に待機している警官がなだれ込んでくるのかもしれないが、曲が静かに始まる。

そして、すべてがわかった。多分わかっていないけれど、わかった。なぜ「啄木」が

秘曲とされたのか。なぜ長明が秘曲を弾いたのか。新しすぎたのだ。最近発表された曲だと言われても私は信じただらう。現代の音楽ジャンルで言えばアンビエントに近い。「啄木」は1000年前の音楽ではない。1000年後の音楽だったのだ。平安時代にこんなものが広まれば、当時の音楽文化は破壊に近い影響を受けただらう。だから秘曲にされた。だから長明は弾いた。その衝動にならう。まごうことなきロックンローラー、鴨長明。私の衝動の先に、あなたの衝動を見る。ロック・ユー。

すてきなサムシングを見つけに出かけよう！

9月は親子企画！

ハビキャン
～毎月やってる日帰りキャンプ～

ナイフワーク編

野外体験をもっと身近に——

Habit(習慣)とCamp(外遊び)の掛け合わせ、「ハビキャン」。職人が企画・運営している日帰りのキャンプイベントです。毎回違うテーマで開催中！ 外遊びの習慣化にぜひお役立てください！

日時 9/6(日)【集合】9:20【解散】17:35

会場 清津峡キャンプ場
(神奈川県足柄上郡松田町)

集合・解散 小田急線「新松田駅」

対象 花まるグループに在籍している

小学4年生以上とその保護者

参加費 親子1組(2名) 18,480円(税込)

※道具代込み

定員 8組(抽選)

申込期間 7/24(金)11:00～8/21(金)19:00

お申し込みはこちら！



📍 椿原ばきお葵

鳥取県の山間部にある倉吉市で育ちました。岡山県との県境も近く、肉や野菜などの買い物は、家族で岡山県にある道の駅でしていました。家の裏に山と川があり、夏は毎日外で遊びほうけていました。倉吉は、「白壁土蔵群」という酒蔵や醤油蔵がズラリと立ち並ぶ地域で、とても美しい街並みです。高校に自転車で登下校するときには、毎日その土蔵群を通り抜けて通いました。



『夏ものがたり』

野上 暁 編
高畠 那生 挿絵
(偕成社)

梅雨、海、お祭り、夏休み……。さまざまな夏をテーマにした短編と詩、計

15編が収録されているアンソロジー。デビュー間もない上橋菜穂子氏【代表作：『精霊の守り人』（新潮社）など】による、夏の夜の幻想的な祭りを描いた短編や、漫画家水木しげる氏によるエッセイ「のんのんばあ」など非常に魅力的な内容。『はれときどきぶた』（岩崎書店）でも有名な矢玉四郎氏による第2話「お母さんはかたつむり」は、子どもたちに読むと大声で笑います。



『帰命寺横丁の夏』

柏葉 幸子 作
佐竹 美保 絵
(講談社)

夏休み、5年生のカズが帰命寺横丁で見た幽霊の少女、あかり。カズは「死んだ人が生き返る」という帰命寺横丁の秘密を探り始めますが……。謎が謎を呼ぶストーリー展開に、怪談やファンタジーの要素も織り込んだ傑作。作中で語られるもう一つの物語、『月は左にある』も非常に魅力的で、物語に奥行きを与えています。作者は映画『千と千尋の神隠し』の元になった『霧のむこうのふしぎな町』（講談社）でも有名。



『キップをなくして』

池澤 夏樹 著
(KADOKAWA)

キップをなくした少年イタルは、「ステーション・キッズ」と呼ばれる子どもたちと東京駅で暮らし、駅や電車に関するさまざまな仕事をするようになります。有楽町、目黒、上野などの都内から、東北、北海道まで……。少年たちのひと夏の不思議な冒険を通して、生と死、時の流れなど、さまざまなテーマが描かれます。「いのちとは何か」と語りかける終盤の展開は非常に感動的。スタジオリブリの鈴木敏夫プロデューサーが、「いつか映画化したい」と明言したことも話題に。



こんな夏休みはいかが？



『まほうの夏』

藤原 一枝 作
はた こうしろう 作・絵
(岩崎書店)

都会に住む二人のきょうだい、お母さんのいなかへ。祖父母の家へ向かう道、むっとする暑さ、木登り、海水浴、夕暮れのちょっと切ない雰囲気……。とにかく、すべてのページからダイレクトに「夏休みのかおり」が漂ってくる絵本です。夏は誰にとっても、世界がほんの少しだけ広く見える季節。あなたの今年の夏を、確かに彩ってくれる一冊です。



『おじいちゃんは水のおいしがた』

今森 光彦 作
(偕成社)

琵琶湖沿岸で60年以上にわたって漁師をしている田中三五郎さんの日々をとらえた写真絵本。毎日の生活に必要なだけの魚をとり、湧き水を飲み、野菜や果物を冷やす。地下水を利用する「川端」など、自然とともに生きる生活を伝える数々の写真がとにかく美しい。本書の映像版であるNHKスペシャル「映像詩 里山 命めぐる水辺」は各国で数々の賞を受賞。ちなみに、本書の舞台となった針江地区は、宮島未奈著『成瀬は天下を取りにいく』シリーズ（新潮社）の舞台・膳所からも電車で行ける場所です。

読書講座
復活！

～開催！ 旅する読書『大MANGA祭り』～

第4回 本×MANGA

9/17 木
10:30～12:00

@スクールF C 用賀校
参加費：500円（税込）

詳細は
こちら



※品切れなどの場合は図書館で探してみてください。

カカコリ 喜瀬ホイップ真帆

「世田谷区で幼稚園から小中高と一貫の私立学校で育ちました」と言う「お嬢だね」と言われるのですが、実は、わが家から一番近いコンビニの前には精米機があるような田舎の感覚が活きている町でした。近くの民家園には田んぼがあり四季を感じていましたし、正月にはそこで独楽や羽子板や竹馬を貸し出してくれて、みんなで遊んでいました。川の飛び石をピョンピョン跳んで、落ちてビショリ濡れたのも良い思い出です。



心のアンテナを大切に

「お元気ですか? 館岡先生にお世話になったRです。都立小石川中等教育学校でがんばっています。特別枠で推薦してもらい入学ができました。イキキューやなぞべーでワクワクしながらたくさん考えた経験が、自由研究に取り組むときに役立ったと思います。先生には保育園に通っていたときから楽しい授業をしていただきありがとうございます! 僕的好きなことも温かく見守ってください! 僕がことが本当に嬉しかったです! これからも楽しみます!!」

ふいに届いた手紙でした。彼の字を見て、一緒に過ごした思い出が一気に頭のなかを駆けめぐりました。

Rが年中の頃、私は授業で「イキキューの見本とは別のしまい方」をいくつか

提示しました。そのなかで、「四隅を一つずつ空けてしまうことができるよ」とさらっと言ったことがあります。すると、その約3か月後、Rが授業後に私のところにやってきて、「先生……、ヒントください!」と言ってきたのです。驚きました。この3か月間、彼はずっと試行錯誤していたのです。ここまで粘ることができる彼です。いきなりできるようにしてしまったら達成感や快感は半減してしまいうだらうなと思い、お母さんと相談して、毎週の授業で一つずつヒントを渡して次の授業までの1週間で試行錯誤をしていく、ということが続けました。

彼の、もう一つ忘れられないエピソードがあります。小学2年生の夏、授業後に「先生に見てほしい」と取り出した巻物。その夏に提出予定の自由研究でした。地下鉄で花まるに通っていた彼は、あるときふと不思議に思うことがありました。「駅によって、電車が入ってくるときの風の強さが違う」ということです。いつも通り「なんで?」と尋ねたその瞬間をお母さんが逃さず、「調べてみない?」と提案したそうです。

巻物には、手描きの路線図とともに、「調査条件」「各駅で風を感じはじめてから、何秒後に電車が到着するのか」「風

の強弱」が書かれていました。「すごいね!」と感動している私に、Rは解説しながら「調べていくうちにおもしろいことがわかった!」と興奮気味にあるページを見せてくれました。

「駅員さんにきいてみました」という取材記事には、「霞ヶ関」「永田町」「国会議事堂前」、これらの駅では特に風圧を強く感じ、駅員室を訪ねて取材してみると、これらの駅は国の重要施設が近い

ため、毒ガス対策として「通風孔」が設置されていないことがわかった、とまとめられていました。それを讀んだとき、鳥肌が立ちました。私もふだん使っているその駅で、そんなことを感じたこともなければ、不思議に思ったこともなかったからです。「電車好き」という彼の興味から、その感性を通して学ばされたのです。

その後も彼の好奇心は止まりません。お茶の水で開催していたアルゴクラブ(現:算数脳ラボ)の体験時に立ち寄ったJAXAの施設に魅了され、その好奇心は宇宙へと広がっていききました。「はやぶさ」の知識はものすごいものでした。

私の故郷にもロケット実験場があつて「はやぶさ」の実験がなされており、それなりに情報に触れていたので知識はあ

るほうだと思っていたのですが、簡単に彼に超えられたことを覚えていきます(毎回作文のネタになっていて、表現力が一番伸びたのもこの頃だったように思います)。

こうして、「なぜ?」を毎年調べ、サイエンスコンクールに応募しつづけたそうです。

大人になって、生き生きとされている方にお会いすると決まっておっしゃることがあります。「いまが一番楽しい!」未知のことに挑戦するのがおもしろいじゃない!。彼らの活躍の根源は「ワクワク」なのです。

子どもは素晴らしいアンテナをもっています。その「好き」のアンテナを育てるには、大人のかかり方と眼差しが鍵をにぎる、と日々実感させられます。

お母さんがおっしゃいました。「私が興味がないと思い込んでいたことも、一緒にやってみたらおもしろいのです。私はRに好奇心を育ててもらいました!」

花まるグループでも「自由研究コンクール」が開催されます。今年の夏、お子さんと一緒に「ワクワク」の種を見つけてみてはいかがでしょうか。

2025.2.3 佐々木スプリング真音

「神社のなかの神社」がある島根県出雲市育ち。山も森も海もある最高の環境でした。スサノオノミコトが八岐大蛇を退治した斐伊川が遊び場。砂鉄が有名で、小学校の遠足では「磁石持参」。川底に磁石をつけてみたらドサッと砂鉄が付いたときの感動は忘れません。砂鉄は製鉄という産業にもつながっていて、『もののけ姫』に出てきた「たたら場(製鉄所)」もありました。独特の雰囲気なのでぜひ一度行ってみてください。

花まるの
教室長を
紹介します！

Hanamaru Family 花まるファミリー

サマースクールや
雪国スクールで会おうね！

ais ...花まる All Inclusive School FC ...スクールF C
...花まるオンライン ...算数脳ラボ

みんなの教室長も順番に紹介するよ。
お楽しみに！



荒井 優志

東京南 神奈川県



井上 笑里

千葉・茨城 埼玉県



柏倉 梨乃

千葉・茨城 埼玉県



加藤 渉

埼玉 茨城県



清岡 悠河

神奈川北 神奈川県



坂田 翔

東京東 山口県



島本 夏凜

神奈川北 神奈川県



高島 直起

東京南 東京都



田畑 敦子

埼玉 東京東 埼玉県



福永 亮太

関西 滋賀県



三浦 楓仁

埼玉 和歌山県



水口 玲

ais 北海道



吉田 優太

東京西 大阪府



高濱 正伸

熊本県 出身地

松浦おゆる加奈

東京は巣鴨育ち。花まる巣鴨教室から徒歩2分で自宅に着きます。とげぬき地蔵尊、高岩寺のある巣鴨地藏通り商店街は、780メートルもあり端から端まで商店が並んでいて、選べるようになったらける赤パンツなどを売っています。実家に帰るたびにクレープ屋や肉まん屋が増えているのは、若者を呼び寄せたいからかなと思います。東京ガスのショップがあって、ガスコンロでクレープを作って配っていたのですが、それをよくもらいに行きました。

8月の誕生花は ひまわり

花まるの
教室長を
紹介します！

Hanamaru Family 花まるファミリー

サマースクールや
雪国スクールで会おうね！

ais ...花まるAll Inclusive School FC ...スクールFC
...花まるオンライン ...算数脳ラボ

みんなの教室長も順番に紹介するよ。
お楽しみに！



パッション

あいざわ たつき
相澤 樹

ais 千葉県



ホビー

あおやま ゆうすけ
青山 裕介

埼玉 新潟県



もえばか

ありもり もえ は
有森 萌葉

埼玉 埼玉県



トンアソソ

う しゅく そう ま
宇宿 聡真

神奈川北 FC 神奈川県



ウチヤマン

うちやま ともなり
内山 朝就

FC 神奈川県



かつしこ

かしもと えり
榎本 衣里

中京 奈良県



うさぎ

かんの ゆりこ
菅野 ゆり子

東京西 東京都



ホイッア

き せ ま ほ
喜瀬 真帆

東京東 東京都



ステイッワ

こ ばやし しゅんぺい
小林 駿平

埼玉 長野県



まつちや

さいとう あゆみ
斎藤 歩美

神奈川南 神奈川県



ぼんたーりーだー

たなべ ひろこ
田邊 紘子

埼玉 新潟県



ぴっぴ

ながしま み ゆ
永嶋 美佑

東京東 FC 埼玉県



うーびん

はた の うた な
畑野 詩奈

関西 熊本県



トルフィン

ひろおか じゅん
廣岡 純

関西 兵庫県



123456
ななりーだー

まつ だ な
松田 な奈

埼玉 埼玉県



ぶどう

やまぐち あいり
山口 愛鈴

関西 大阪府



オーガム

やまざき たかし
山崎 隆

東京東 千葉県



ゴールテン

わたなべ えい じ
渡邊 栄治

千葉・茨城 FC 熊本県



まんまん

たかはま まさのぶ
高濱 正伸

〇〇〇 熊本県

..... リーダーネーム

..... 名前

..... 担当エリア・部門

..... 出身地

元吉もちょ選子

山梨県甲府市が故郷。実家は昇仙峡にのぼっていく山の中腹の緩やかな斜面にあるので、窓を開けると真正面に富士山が見えます。それは良いのですが、小学校までは徒歩で1時間、帰りは上り坂でさらに時間がかかるので、脚力と心肺機能は鍛えられました。坂道を一輪車で下り、裏山に秘密基地を作り、子ども時代は遊びつくしました。玄関の前に鹿がいたり、屋根の上に猿が遊びに来たりするのも楽しみでした。

7月の誕生花は **ゆり**